

ふなと

かつせいか

いいんかい

しまんとがわ

げんりゅうてん

船戸活性化委員会「四万十川源流点」

～船戸地区のみんなあと、ここの自然、四万十川源流点がともに輝き、賑わい続ける集落を目指す～



茶畑ウォーキングでのお茶摘み体験



宿泊施設「遊山四万十 せいらんの里」

経緯

- 平成22年の船戸小学校廃校を機に地域活性化の取組を開始し、平成26年、地域住民で船戸活性化委員会「四万十川源流点」を設立。
- 地域の観光資源である四万十川源流点を活かしたイベント等を通じ、地域内外との交流を重ね、地域の活性化に取り組んでいる。

取組内容

- 春は茶畑を生かした、秋は紅葉を楽しむウォーキングイベントや、こんにゃく・田舎豆腐づくり体験による交流活動を実施。
- 特産品（田舎豆腐・おつまみ豆腐・おからパウダー）を製造・商品化し、町内の道の駅やふるさと納税等で販売。
- 地元食材にこだわったランチビュッフェが人気の宿泊施設「遊山四万十せいらんの里」の運営。

活動の効果

- イベント開催数や体験プログラムへの参加者数は、コロナ禍にも関わらず、維持又は増加しており、せいらんの里への県内外からの観光客が増加し、宿泊者数は令和3年度には約1,800人となるなど、交流人口の増加につながっている。
- 交流活動を継続することで、地域の活性化が図られ、地域の困りごとの解決や景観の維持活動に取り組むなど活動の幅が広がった。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後も、「四万十川源流点」を活かした体験・交流イベントにより交流人口・関係人口づくりを継続し、地域の魅力を発信し続けていきたい。